

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201195
法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会
事業所名	今治市社協 グループホームゆいの里
所在地	今治市大三島町野々江 2 4 3 5 番地 1 4
自己評価作成日	平成22年6月21日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月5日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの、自由な意思を尊重し、持っている力を維持しながら発揮でき、笑顔の中で日々を過せる様に支援させて頂いている。また寄り添う事により言葉で表せない要介護者の思いをくみ取りながら支援させて頂いている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は全体的に木のあたたかみのある造りで、天井は旧家の梁を使って「家のぬくもり」が感じられ、利用者に懐かしく、落ち着ける造りにされている。又、各所にいろいろな種類のいすやソファを配して、それぞれがお好きな場所でくつろいで過ごせるようにされていた。今後は、居間から中庭に出れるスロープを作る予定になっていた。

職員のアイデアで居室の入り口のガラスに彩りのよい織物を貼って目隠しをされていたり、お花の好きな職員が多く、共用空間にはたくさんのアジサイやアザミ、百日草等が飾られていた。「一瞬一瞬の笑顔」を大切に支援することを管理者は職員に伝え、職員間でもその思いを共有して利用者個々の「穏やかな暮らし」の支援に取り組んでおられる。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 社会福祉法人 今治市社会福祉協議会

(ユニット名) 今治市社協 グループホームゆいの里

記入者(管理者)

氏名 菅 千枝

評価完了日

平成22年 6月 21日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「家のぬくもり、人のぬくもり、地域のぬくもりにふれあいながら、その人らしく暮らしていただけるよう、お手伝いさせていただきます」という理念のもと安心した暮らしができるよう、実践につなげている。	
			(外部評価) 事業所では利用者が「地域のぬくもり」にふれながら、暮らしていただけるよう、地域行事等、地域の集まりに積極的に出かけておられ、個々がこれまで大切にされてきた地域行事への参加を続けていけるよう支援されたり、その際に知人やご親族の方とも出会い、声をかけ合うような交流も大切に支援されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) お大師参り、地域の祭り、中学校の伝承文化発表等、年間を通して地域の行事に参加 又、夏祭りを計画し多くの方々との交流を図っている。避難訓練も地域の方、消防署の協力を得行っている。	
			(外部評価) 老人クラブの方達と一緒に餅つきをしたり、夏祭りやクリスマス会には運営推進会議のメンバーや地域の有志の方々を招き、ともに楽しい時間を過ごされている。保育園児が来てじゃんけんゲームをしたり、お遊戯を見せてくれるような機会もある。高校生の体験学習時には、一緒に食事作りをされたり、利用者の髪を乾かしてもらう等してふれ合ったり、介護の体験をされた。事業所では、地域とのかかわりを通じて年々地域の方々との交流が深まり、認知症や事業所についての理解も広がってきていると感じておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症の理解としての勉強会、セラピュティックケア研修を実施し多くの方々に参加を得ている。又、実習生の受け入れや高校生の職場体験等積極的に行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現状の課題や評価結果を取り上げ、意見をいただきながら、サービスの向上に生かしている。</p>	<p>会議の開催場所や内容等の工夫を重ねて、今後さらに、事業所のケアサービスの質の向上につなげていかれてほしい。メンバーの方達に事業所の様子を見ていただきながら、ケアサービスについても具体的にご意見や感想をうかがってみてはどうだろうか。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>会議時、行事等の報告や利用者の状況を説明し、介護や対応等についての困難事例を提示して話し合いを行っておられる。消防署や看護師等の出席もあり、専門的な意見等もうかがえるようである。又、地元の方から見た事業所についての感想をいただいたり、又、地域の方がご自身の体験をもとに「介護施設を利用するご家族の立場」に立って心情を述べてくださり、参考になったようだ。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>保健師同行による認知症専門医による往診や住居者状況等の報告をし現状の課題等相談しながら、サービスの向上に取り組んでいる。認定更新の機会には担当者へ暮らしぶりやニーズを具体的に伝え連携を深めている。</p>	<p>運営推進会議の後の新しい利用者を決定する「検討委員会」で、ご意見をいただいたり、運営推進会議時には、防火等について、気を付けること等を教えてもらっている。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>全ての職員が、正しく認識し拘束しないケアに取り組んでいる。利用者の状況も把握できており、安全面に配慮し自由な暮らしを支えるようにしている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全ての職員が、正しく認識し拘束しないケアに取り組んでいる。利用者の状況も把握できており、安全面に配慮し自由な暮らしを支えるようにしている。</p>	<p>管理者は、日々の職員のケアの場面を捉えて「拘束にならないか」問いかけ、身体拘束をしないケアが実践できるようすすめておられる。又、外部研修や法人内研修等で勉強をされて知識を深めておられる。</p>
			<p>(外部評価)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  研修の機会を設け参加している。又、全員で学習の時を持ち、話し合い防止の徹底を図っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  外部研修に参加し、制度について全員で学習する機会を設けている。必要な人には本部とも連携し活用できる体制が整っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時十分な説明をし、重度化や看取りについて事業所の考え方や取り組み、入居から退居にいたるまで希望を伺い十分に話し合い、理解が得られるように努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  運営推進会議を2ヶ月に1回行い、利用者や家族の方等、参加していただき、意見や希望を交換する機会を設けている。	
			(外部評価)  2か月ごとに、事業所便りを発行して、行事や外出、誕生日の様子を写真入りで伝えておられる。又、クリスマス会時には、家族会も開催して「インフルエンザの予防接種の説明」や「看とりの支援」についてお話しされた。又、利用者には、口頭でアンケートを取り「食事と会話が楽しみ」という結果が出ており、利用者個々の好みを取り入れた食事作りや入浴時等、利用者と一緒に会話をしながら本人の思いに寄り添えるように心がけておられた。「入居してから本人の会話が増えて感謝している」というようなご家族からの感謝の言葉もあるようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 全体ミーティング時には、職員の意見や提案、要望等は全員が出し合い、話し合いで反映させるようにしている。 (外部評価) 職員のアイデアで居室の入り口のガラスに彩りのよい織物を貼って目隠しをされていたり、お花の好きな職員が多く、共用空間にはたくさんのアジサイやアザミ、百日草等が飾られていた。「一瞬一瞬の笑顔」を大切に支援することを管理者は職員に伝え、職員間でもその思いを共有して利用者個々の「穏やかな暮らし」の支援に取り組んでおられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 会長・支部長と交流の機会もあり、資格取得に向けた支援や情報を提供し各自が向上心を持って働けるよう、全職員が計画的に研修に参加できるように努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 全職員が段階に応じて研修できるように計画をたて、受講している。ミーティング時には、研修報告を行い、共有できている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 県グループホーム協議会による総会・研修・相互研修等活動を通じ、内部研修に生かし質の向上を目指している。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用する前に本人との面談を行い、話し合いの中でよりよい関係づくりに努め、本人の思いや不安なことを受け止め、本人の安心を確保できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>今までの生活状態やサービスの利用状況など教えて頂き、家族の希望や思いを聞き、事業としてどこまでサービスできるか等話し合いの場を持っている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族と十分に話し合い確認し必要なサービスの情報を迅速に提供できるように努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>野菜の皮むき、汚れ物入れの新聞折り、洗濯物干し、たたみなど、利用者さんに応じた作業をして頂く事で、本人さんに充実感をあじわい自ら生活して頂くような援助に努めている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>誕生日会・クリスマス会・夏祭り等、家族さん方に参加を呼びかけ、催物には利用者・家族・職員三者一体となって楽しみ交流を深めあうことで、絆を大切に保たれている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お大師参り、寺の花祭り、又神社への初詣等に参加する事により、馴染みの場所で馴染みの方々と出会う喜びと楽しみがもてるような支援をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>併設の小規模多機能型居宅介護事業所を利用していた方が、顔なじみの利用者や職員がいるホームに入居して落ち着いて暮らしておられた。利用者はご家族と一緒に病院受診や美容院、お寺参りや外食等に出かけておられる。地域の敬老会にも出かけておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) その時々に応じた、席の移動あるいは植物等の配置職員の関わり方等、常時、利用者への見守りと気配りがかかさないうれしい心がけ、適時に適切な支援に努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去後も毎年家族様と一緒に来てくださる方や電話連絡もあつたり良い関係が続いている。また必要な情報も提供できるように心掛けている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 言葉に出ている事ばかりでなく、心の中にある思いを、どう受け止めるかで、ひとりひとりにあつた援助が出来ると思うので、利用者に寄り添い本音が出せる様な介助に努めている。 (外部評価) ご本人の経歴等の情報をご家族に記入していただき、入居前の様子を知り得たり、日々の中で職員は利用者個々とかかわる中で「うれしい、さみしい」等の思いの把握に努めておられる。	さらに、意思表示の難しいような方の思いや意向の把握についても工夫を重ねていかれてほしい。情報を集めて、介護計画に採り入れ、さらに「その人らしく暮らせるような」支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 地元中心とした利用者様がほとんどで、今まで生活してこられた馴染みの暮らし方を重視し、職員全員で支援に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活のリズムを確保しながら、食事やバイタルチェックにも細心の注意を払いながら、残存能力を引き出せるよう、食事の準備や洗濯物たたみなど、利用者様と一緒にやっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人又家族様等の意見を取り入れ、利用者を取り巻くスタッフ全員に依る意見交換のミーティングを行っている。その方の現状がよくわかり、課題・解決策等が出され、計画が作成されていく。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日常生活動作についてアセスメントしてご本人の現状を把握し、ご家族の意向や職員の気づきを取り入れて介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護記録や一日チェック表、連絡帳において必要情報を共有し、評価見直しをし、実践や介護計画に活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族様の要望に応じて、外泊や外出ができるようにしている。又、隣接している小規模多機能・ゆいの村との交流も再々ある。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お大師参り・地方祭・敬老会行事等体調に合わせて外出し、馴染みの方との出会いも多く、いきつけの理、美容室へも家族の協力を頂き行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)  利用者個々のかかりつけ医をもち、自ら受診をされて いて、緊急の場合は、事業所の嘱託医あるいは、救急 当番医へ、その都度適切な医療が受けられている。	
			(外部評価)  利用者個々のかかりつけ医の受診にはご家族が付き添 われたり、往診を受けている利用者もある。専門医に は、職員が同行して診てもらっている。往診を受けて いる方については、医師とご家族が話し合うような機 会も作っておられる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)  かかりつけ医の看護師との連携や隣接している村や、 福祉センターの看護師といつでも相談できており意見 を伺いながら支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)  安心して治療できるように、できるかぎり利用者やご 家族の意向に沿って、情報交換しながら対応可能な段 階で早期退院できるように、又入院時には本人の支援 方法に関する情報を提供している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)  契約時に本人及び家族の意向を伺い、事業所としてで きる事を説明して共有している。状態に応じて医師・ 本人・家族と話し合い方針共有し意向に沿った支援に つなげている。	
			(外部評価)  「食事が摂れなくなった場合、常に医療が必要になっ た場合」等にはご家族や医師と話し合いを行い、今後 の事を決めるようにすることを運営推進会議や家族 会時に説明された。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	救急法やAEDの使い方の講習を受け知識は得ており、初期対応への備えはできている。夜勤時の緊急時対応についてのマニュアルも整っている。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	緊急連絡網マニュアルにより、避難訓練を実施している。事業所あげての地域・市・消防署の協力体制により、通報・避難・消火訓練を行った。
			(外部評価)	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	日々のかかわりの中で、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることなく、日々豊かに過していただけるように支援している。
			(外部評価)	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	一人ひとりが思いや、希望を表すことができるような言葉をかけをし、自己決定できる場面を作っています。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの体調に配慮しながらその人のペースでまた、希望を尋ねたり相談しながら過せる様に支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 朝の着替えは本人の意思で決めており職員は見守り、支援が必要なときには手伝っている。行きつけの理、美容院へは家族と一緒にしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理法の工夫に依りその方の残存能力、好み等一人ひとりに合った方法で食事を提供している。準備片付け等も出来る事を出来る人にしていただいている。	
			(外部評価) 併設の系列グループホームと交替で献立を作っておられ、火曜と金曜に食材が届くようになっている。「いぎす豆腐」や季節の野菜等をふんだんに使用して食事作りをされており、ご飯は柔らかくされている。調査訪問時、昼食後に食器洗いされている方や男性の方が職員と歌を歌いながら食器拭きをされている様子がうかがえた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとり量や好みを考慮しながらキザミ、おかゆ、流動食にしたり健康状態や歯の状態、のみこみ力の状態により対応している。水分補給もこまめに取るように進めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分で出来る方は見守りや声掛けをし、支援の必要な方には声掛けしながらその方に応じた歯磨きの手伝いをしています	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄パターンを記録する事によって把握しその都度声掛けしたり、お連れしたりしながら最小の失敗にとどめるなど個人の残存能力に応じた支援に努めている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	水分補給を十分にまた、繊維質の多い食材を提供し予防に取り組んでいる。その方の体調に合わせた運動への声掛け誘導をおこなっている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	利用者の希望に出来るだけあわせ、体調チェックしながら支援している。また状況に応じてシャワー浴や足浴を行っている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	日中は自由な時間を過しながらも散歩や手作業等一緒にし生活のリズムを整えるように努めている。夜間の状態も記録やミーティング時確認でき、その日の体調に合わせて支援している、	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の効能表で確認し利用者の病状を把握し服用を支援している。変化時には家族さんに相談し主治医の指示を受けている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 調理の下準備や洗濯干したたみ等できる事を一緒にしている。それぞれに得意な作業がありお願いしています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族の協力により毎月夫の命日に帰宅して法要を行ったり、近所の商店へ買物や外食へいったり、お大師参りをしたり家族の協力で出かけられる事が多い。	
			(外部評価) 敷地内を散歩したり、以前から参加されているお大師様参りや初詣等にも出かけておられる。又、最近はサーカスに3名出かけ、楽しまれた。今後は、午前と午後に散歩することを考えておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族の協力を得て小額のお金を持っている方もおいでる。又管理困難な為日常生活費とし小額事務所で預かっておりその中から希望に応じ一緒に買物支援を行っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 遠方(息子さん、娘さん)からは周期的にまた、誕生日、母の日など連絡があり大変喜ばれている。本人の希望により電話使用もいつでもできる様に支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>旬な物、ふきのとう、竹の子、季節の草花などを持ち込み季節を感じて頂いたり、耳に聞き慣れた、また心地よい音楽をかけたり、温度調節をこまめにしたりと居心地良く過ごせる様に心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は全体的に木のあたたかみのある造りで、天井は旧家の梁を使って「家のぬくもり」が感じられ、利用者に懐かしく、落ち着ける造りにされている。又、各所にいろいろな種類のいすやソファを配して、それぞれがお好きな場所でくつろいで過ごせるようにされていた。今後は、居間から中庭に出れるスロープを作る予定になっていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>気の合う方が誘い合い話しができるスペースもある。外の景色がみれるように長椅子やソファを置き自由に過ごせる様に支援している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人が長年愛用のテレビ、タンス鏡台等を持ち込み使い慣れた用品に囲まれ居心地よく家に居た時と同じ様に過ごしていただけるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室はそれぞれが過ごしやすいようなしつらえになっており、畳を敷いておられる方やベッドの周りに肩たたきやカレンダー等を置き、すぐに手が届くようにされている方もあった。部屋の窓から外の様子もよくわかり、系列事業所の職員の方が、窓から声をかけてくれる方もあった。職員と一緒に床のふき掃除をされる利用者もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>身体状況に合わせ、手すりを増設したり必要な目印を付けたり物の配置に配慮し自立した生活が送れるよう支援している。</p>	